



冬季利用者のために

市内事業者による除雪ボランティア

2月7日、三共グループの社員がボランティアで除雪作業を行いました。年明けから繰り返し寒波が押し寄せるなか、とんがり童夢ぱおと畑地区の浄水場の敷地を20人ほどに分かれそれぞれ除雪作業にあたりました。特にぱおでは屋根からのなだれで窓を覆っていた雪壁を重点的に除雪し、冬季利用者の利便性と安全性の向上を図りました。



▲壁際の雪を手作業で除雪する社員の皆さん

探究活動の成果を披露

仁賀保高校探究活動学習発表会

2月6日、仁賀保高校で令和7年度探究活動学習発表会が行われました。午前中に行われたポスターセッションでは、学年ごとに限られた時間にかほ市の課題や魅力、新商品開発などをテーマごとに発表し、評価シールを貼り生徒同士でお互いを採点。午後のステージ発表では、ご当地新キャラ!? パワーアップしたアンコウ忍者などが紹介されました。



▲ポスターセッションに耳を傾ける生徒たち

秋田・にかほネタを交えながら

第3回 桂三若・桂三度落語二人会

1月25日、仁賀保勤労青少年ホームで商工会青年部主催の落語二人会が行われました。桂三若さんと桂三度さんの語りを聞こうと、県内外から多数の参加者が訪れ会場を埋め尽くしました。本市出身漫画家藤本タツキ先生の「ルックバック」実写映画化など秋田やにかほのご当地ネタを織り交ぜての軽快な語り、会場は笑いの渦に包まれていました。



▲ルックバック実写映画化についての驚きと喜びを話す桂三度さん

料理を通して友達になろう

にかほ国際キッチン

1月25日、若者円卓会議・国際部会主催の国際交流イベントが開催され、秋田の料理・だまこ鍋作りで30人が参加しました。鶏ガラをとったり、だまこ餅を丸めたり、協力して調理しながら、「あなたの国では何の調味料を使う?」、「よく食べるものは?」など話にも花が咲きました。異なる文化を知り、新たな人と交流する豊かな時間になりました。



▲「友達になろう」と互いの言葉でコミュニケーション

新たに8商品を認定

鳥海山・飛島ジオパーク 第7期認定商品認定式

2月11日、にかほとで鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会とガイドの会とのパートナーシップ協定締結式と認定商品認定式が行われました。本市からはベーカリー&ピストロCRUSTのヤマチョウ玄米(パン)、New Amsterdam Bagelのいちじくホットサンド、(株)えっこのアブラツノザメを加工した犬用の海の天然おやつ3商品が認定されました。



▲認定を受けた事業者と審査委員の皆さん

地酒と地魚で乾杯

SAKEバル in にかほと

2月8日、にかほ市イベント実行委員会主催によるSAKEバルinにかほとが行われ、参加者は飛良泉を始めとする日本酒を堪能しながら、ひまわり兄弟の三味線や金浦出身の和丸さんの踊りを楽しみました。また、地元漁師で漁チューバーの佐々木一成さんによる地魚解体ショーでは、手際よくスズキを捌く姿に歓声をあげる参加者の姿が見られました。



▲皆の視線が集まるなか、スズキを捌く佐々木さん

海上安全・大漁祈願

掛魚まつり

2月4日、金浦地域で300年以上続く伝統の奇祭「掛魚まつり」が行われました。地元の漁業関係者や金浦中の生徒達が寒鰯を2人1組で担ぎ、金浦漁港から金浦山神社までの約2kmを練り歩き、13匹の寒鰯を無事奉納しました。また神社向かいのエニワンでは鰯汁の販売や地元商店の出張販売ブースなども設けられ、賑わいを見せていました。



▲寒鰯を奉納する漁師の皆さん

偉人の功績を讃え

白瀬中尉をしのぶ集い・雪中行進

1月28日、白瀬中尉をしのぶ集いが行われました。1912年1月28日、白瀬南極探検隊が南極の南緯80度05分に日章旗を立て大和雪原と命名した偉業をしのぶ雪中行進も今回で59回目。金浦公民館を出発した参加者たちは、途中、白瀬中尉の生家・浄蓮寺でお墓参りと黙とうを行い、寒空のもと南極公園までの2.5kmの道のりを行進しました。



▲エニワン前で南極旗をふる勢至保育園の園児たち